

●新世紀、新千年紀を迎える 二〇〇〇年一月

千年紀 丘に登りて 初日待つ

新世紀 新千年紀 初日の出

紅梅の 一輪咲きし 今朝の霜

老妻の ガーデニングに 春ひかる

霜柱 除けて葱菜を 収穫す

初詣 あと何回の 初詣

静けさや 耳順の朝に 積もる雪

生きる意志 耳順の寒に 血圧計

夢に見る 父の享年に われ近く

タカオガンバレヨ 亡きおふくろの声 梅林

梅の香に ふと年忘れ 華やげり

夫送る 姉の横顔 寒椿

花一分 古寺にまだ 冬残る

おぼろ空 富士も霞みて 花三分

ガーデニング 花満開の庭 妻若し

花七分 先ゆく女 なまめかし

厚着して 夜桜ながめ 華やげず

鎌倉に 梅桃桜 一沙鷗忌（一沙鷗は長洲前知事の雅号）